

都市再生整備計画 事後評価原案

大殿周辺地区

令和2年12月

山口県山口市

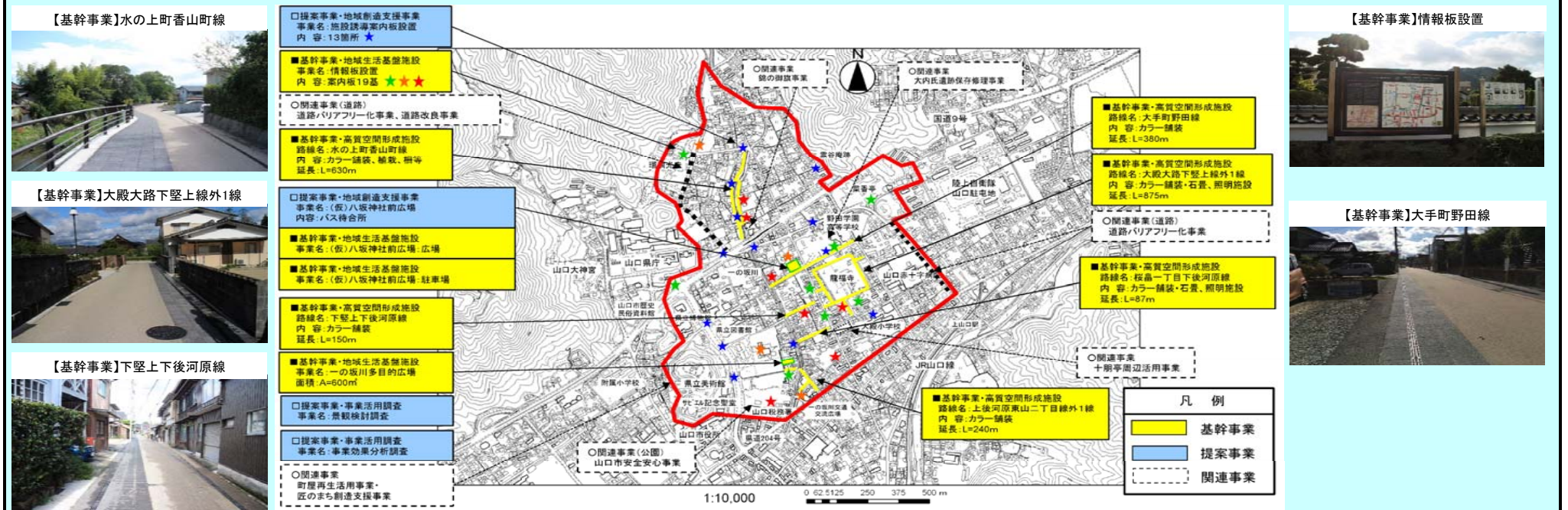
様式2-1 評価結果のまとめ

| 都道府県名 | 山口県 | | 市町村名 | 山口市 | | 地区名 | 大殿周辺地区 | | | 面積 | 120ha | | |
|---------------------------------------|--|--|--|--------------------------|------|---|--------|------|------------------------|---------|------------|--|-------------|
| 交付期間 | 平成28年度～令和2年度 | | 事後評価実施時期 | 令和2年度 | | 交付対象事業費 | 818百万円 | 国費率 | 0.401 | | | | |
| 1) 事業の実施状況 | 当初計画に位置づけ、実施した事業 | 基幹事業 | 地域生活基盤施設(仮)八坂神社前広場・広場、(仮)八坂神社前広場・駐車場、一の坂川多目的広場、情報板設置) 高質空間形成施設(水の上町香山町線、桜島一丁目下後河原線、上後河原東山二丁目線外1線、大手町野田線、下堅上下後河原線、大殿大路下堅上線外1線) | | | | | | | | | | |
| | | 提案事業 | 地域創造支援事業(施設誘導案内板設置、交通利便施設) 事業活用調査(景観検討調査業務、事業効果分析調査) | | | | | | | | | | |
| | 当初計画から削除した事業 | 基幹事業 | ①高質空間形成施設:龍福寺周辺照明施設 ②高質空間形成施設:亀山公園照明施設 | | | 削除/追加の理由 | | | 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 | | | | |
| | | 提案事業 | ①地域創造支援事業:地域資源の発掘(副読本作成) | | | 地元NPOとの協働により、他の財源により作成することとしたため。 | | | 指標への影響はない。 | | | | |
| | 新たに追加した事業 | 基幹事業 | なし | | | | | | | | | | |
| | | 提案事業 | なし | | | | | | | | | | |
| 交付期間の変更 | 当初 | | | 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響 | | | | | | | | | |
| 2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況 | 指標 | | 単位 | 従前値 | 基準年度 | 目標値 | 目標年度 | 数値 | | 目標達成度 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ予定時期 |
| | 指標1 | 生活道路の整備状況や安全な通行に対する満足度 | % | 29.3 | H26 | 33.0 | R2 | 37.2 | 37.2 | ○ | あり なし | 生活道路の舗装・照明施設等の整備が進み、道路の安全性・快適性が向上したことで、整備状況や安全な通行に対する満足度が上昇した。 | 令和4年1月 |
| | 指標2 | 東西方向の通行者数 | 人/日 | 544 | H27 | 636 | R2 | | 590 | △ | あり なし | 計測地点における道路整備事業が未完了であることや、新型コロナウイルスの影響による観光客の大幅な減少により、目標未達成となった。事業の完了及び新型コロナウイルスの終息により、効果が発現すると考えられる。 | 令和3年11月 |
| | 指標3 | まちなみなどの景観に対する満足度 | % | 40.2 | H26 | 45.0 | R2 | 46.8 | 41.5 | △ | あり なし | 道路修景整備や広場整備により満足度はやや向上しているものの、一部整備が未完了であることから、事業の完了により効果が発現すると考えられる。 | 令和4年1月 |
| 3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況 | 指標 | | 単位 | 従前値 | 基準年度 | 目標値 | 目標年度 | 数値 | | 目標達成度※1 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ予定時期 |
| | その他の数値指標1 | 大殿小学校の児童生徒数 | 人 | 604 | H27 | | | | 626 | | | 生活道路の整備により、快適で利便性の高い居住区間が形成され、子育て世代の定住促進につながり、地区内の小学校の児童数が増加した。 | |
| | その他の数値指標2 | 山口市菜香亭、大路ロビの利用者数 | 人 | 31,307 | H27 | | | | 51,740 | | | 道路の修景整備や情報板設置に伴い、地区内の回遊性が向上し、観光・交流拠点の利用者数が増加した。 | |
| | その他の数値指標3 | | | | | | | | | | | | |
| 4) 定性的な効果発現状況 | 住民との協働により、公共施設の景観整備や景観ルールづくりについて議論を行っていく中で、住民のまちづくりに対する意識が醸成・高揚した。 | | | | | | | | | | | | |
| 5) 実施過程の評価 | 実施内容 | | | | | 実施状況 | | | | | 今後の対応方針等 | | |
| | モニタリング | 山口市まちづくりアンケート | | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | ● | 随時市民アンケート調査結果より確認する。 | |
| | 住民参加プロセス | 「大内文化街道まちなみ協議会」と山口市との連携 | | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | ● | 公共施設の景観整備や景観ルールづくりについて継続して実施する。 | |
| | 持続的なまちづくり体制の構築 | 「大内文化街道まちなみ協議会」と山口市との協働により、事業完了後のまちなみの維持・管理活動、イベントの企画等を継続的に行う。 | | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | ● | 引き続き住民や協議会と連携し、持続的なまちづくり体制の構築を目指す。 | |

様式2-2 地区の概要

大殿周辺地区(山口県山口市)成果概要

| まちづくりの目標 | 目標を定量化する指標 | 従前値 | 目標値 | 評価値 |
|---|------------------------|-----------------|-------------|-------------|
| 大目標: 快適で利便性の高い居住空間の形成による歴史の薫るまちなか居住の推進 目標①: 既存の都市機能を活かした歩いて暮らせるまちづくり 目標②: 路地の再生など生活環境の整備によるまちの魅力向上 目標③: まちなか居住の魅力を高める景観形成と交流促進 | 生活道路の整備状況や安全な通行に対する満足度 | 単位: % 29.3 | H26 33.0 | R2 37.2 |
| | 東西方向の通行者数 | 単位: 人/日 544 | H27 636 | R2 590 |
| | まちなみなどの景観に対する満足度 | 単位: % 40.2 | H26 45.0 | R2 41.5 |
| | 大殿小学校の児童生徒数 | 単位: 人 604 | H27 - | - 626 |
| | 山口市菜香亭、大路ロビーの利用者数 | 単位: 人 31,307 | H27 - | - 51,740 |



まちの課題の変化

- 生活道路の舗装・照明施設等の整備が進み、道路の安全性・快適性が向上したが、一部道路及び広場の整備が未完了であり、事業の早期完了やバリアフリー化の推進によるさらなる安全性・快適性の確保、回遊性の向上を図るとともに、まちなみ再生による地区全体の魅力向上、憩いの場の創出が必要である。
- 住民との協働によるまちなみ景観ルールづくりの議論が進むとともに、まちなみ景観の将来像と調和する公共施設の景観整備が図られた。引き続き住民や協議会との連携により、景観形成のルールづくりや地区内外者への情報発信、及び交流・定住促進を図る必要がある。
- 立地適正化計画において、山口都市機能誘導区域に位置付けられた各ゾーン(大内文化ゾーン、亀山周辺ゾーン、中心商店街ゾーン)間の連携強化による都市基盤整備・回遊性の向上が求められている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 生活道路の整備・維持管理により、歩行者を中心とした安全かつ快適な歩行空間を形成し、回遊性の向上、にぎわい創出を図る。
- 道路空間を含む公共空間の有効活用により、にぎわいを創出するとともに、道路のバリアフリー化及び誘導サインの設置により、歩行者通行量の増加、回遊性の向上を図る。
- 計画区域内だけでなく、山口都市機能誘導区域に位置付けられた各ゾーン間の連携・回遊性の向上により、市街地全体のにぎわい創出を図る。
- 未完了である道路及び広場の整備や、沿道土地利用の促進により、良好な景観・まちなみ形成を推進するとともに、民間活力等を活用した交流・憩いの場の形成への支援を充実し、地区全体の魅力向上を図る。